

## 2. 農業の振興策は

**議員** 豊前市水田農業ビジョンは大規模農家、営農組織が中心と思うが、この1年間で農家・地域の方々に周知、理解が出来るのか伺いたい。

**農林水産課長** JAと共催で市内138生産組合を対象に計93回の集落座談会を計画し、生産者へ説明と意見集約を行う。また、担い手となる認定農業者や営農組合等にも説明会・意見交換会をし、周知徹底を図るとともに、出された意見を集約し、最終的な計画を決定したい。

**議員** 平成16年から転作の補助金・面積が変わってくると思うが、市が推進する転作品目は、麦・大豆か。

**農林水産課長** そのとおりである。  
**議員** 高収益型農業に取り組み農家の声も聞き、行政からの適切な指導・助言をお願いしたい。

**農林水産課長** 関係機関と連携し、農業生産資材の環境負荷に考慮した栽培手法に転換を図るとともに、今後も強く安全・安心をし、豊前市の農業生産の特徴を活かした生産を目標に指導していきたい。

## 3. 企業立地に向けての対策は

**議員** 新しい工業用地はどこを計画しているのか示して欲しい。都市計画マスタープランとの整合性はとれているのか。

**商工観光課長** 新たな工業団地の造成は、すぐには結論が出ない。現在、空地・空き工場があるのでそこに企業誘致に結び付けたい。  
**議員** 条例案は農村部が除外されているような表現があったが、線引きの基準を伺いたい。また、支援を決定する審査機関の構成をお尋ねしたい。

**商工観光課長** 農村部が除外されているのではなく、東部工業団地以外の市内企業を指している。審査委員会の構成は、市議会議員・学識経験者・公共的団体を代表する者、行政機関の職員の15名以内を考えている。

**議員** なぜ、平成15年10月にさかのぼって施行日にするのか。ある特定企業に適用させるためか伺いたい。

**商工観光課長** 15年10月までにさかのぼったのは、15年10月21日に国の低開発工業地域の指定がなくなり、市内企業の育成が必要なためである。

## 6月の議会の日程表(予定)

7日(月)	本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明
8~13日	休会	議案審査日
14日(月)	一般質問	
15日(火)	一般質問	
16日(水)	常任委員会	
17日(木)	常任委員会	
18日(金)	常任委員会	
21日(月)	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決
22日(火)	本会議	予備日

## 議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。6月の定例会の一般質問は6月14日(月)、15日(火)の予定です。

## 編集後記

市議会だより第44号をお届けします。

本号では、改選後の初議会で選任された議会役員構成を掲載いたしました。

なお、私達編集員が本紙の編集を担当することになりました。今後ともよろしくお願いいたしますとともに、御意見・御要望を遠慮なく市議会事務局までお寄せ下さい。

### 編集委員

委員長 神崎光昭  
副委員長 宮村精一  
委員 中田勇希  
委員 古川村也  
委員 山崎廣美

豊前市のホームページに、市議会だよりを掲載しています。  
内容 議会について

議員名簿  
議会日程  
議会だよりなど